

出田 泰三 議員
市民の声



県道高松王越坂出線の
抜本的な復旧工事への対応は

Q 王越地区住民の安全・安心の確保のため、県道高松王越坂出線の復旧工事は喫緊の課題であると思うが、市はどのように把握しているのか。

A 平成30年7月豪雨による被災箇所は、県において調査設計を行い、国の災害査定を受け、早期の完成を目指し復旧工事に着手しています。また台風24号により被災した箇所については、国の災害査定を受けた後、本格的な復旧工事に着手する予定です。大崎の鼻付近の被災箇所についても災害査定を受ける準備をしているものと、災害査定に必要な被災箇所の範囲を特定するための観測を実施していると考えています。

(建設経済部長)



大槌島・小槌島の景観の
原状回復は

Q 大槌島・小槌島とも、斜面が何箇所か大きく崩れている。2つの島は無人島であり、行政的にいえば、高松市や玉野市の所管になるが、天与の環境や自然を共有する我々にとっても原状回復は共通の責務だと思うがどうか。

A 大槌島・小槌島は、瀬戸内海国立公園の第一種特別地域に指定されており、災害復旧といえども工作物の設置や木竹の伐採等については厳しい規制があります。よって、復旧についても、慎重に検討する必要がありますことや、また行政区域外であることから、今後は高松市の動向も注視しながら、協力できるところがあれば考えていきたいと思えます。

(建設経済部長)

質問の
主な項目

- ・都市計画マスタープランと立地適正化計画について
- ・新年度予算編成について
- ・戦没者追悼式について
- ・来年5月1日の改元について

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



防災及び老朽化対策に重点
を置いた公共事業の推進を

Q 近年、全国的に地震や大雨などによる大きな被害が相次いで発生している。また、南海トラフ巨大地震の発生確率も高まっていることから、本市においても防災及び老朽化対策に重点を置いた公共事業を進めるべきと考えるが、市の考えは。

A 本市では従来、市内の幼稚園、小・中学校について、子供たちの活動の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことを踏まえ、県内他市町に先駆けて、平成23年度末までに全ての耐震化を終えています。

また、昨年度には、大規模災害が発生した際に十分な防災拠点機能が発揮できるよう、新庁舎の建設工事に着手したほか、小・中学校の非構造部材の耐震化など、計画的に防災対策に取り組んでいるところです。

来年度も引き続き、事業の選択と集中による財源の重点配分に努め、安全で安心なまちづくりを積極的に推進していきます。

(総務部長)

外国人技能実習生向けの
日本語教室開設を

Q さまざまな国から来ている外国人技能実習生にとって、日本語や日本の風習・マナーを習得する場を設けることが必要と考える。日本語教室やサポートセンターを開設してはどうか。

A 坂出市国際交流協会においては、在住外国人支援事業として、生活ガイドブックの発行・配布や日本語教室などを開催しています。日本語教室については、日本語ボランティアが日本語の学習支援を行うとともに、日本の季節行事や風習を伝えたり、マナーや日常生活等の相談を受けたりしています。

今後も学習者が気軽に、また、有効に利用できるよう、日本語ボランティアの確保も含め、事業継続に努めていきたいと考えています。

(副市長)

質問の
主な項目

- ・四国新幹線導入について
- ・自治会加入の促進について
- ・公共施設の聴覚障がい者対策について